

## 4. 市民の意見

### 4.1. まちなか再生プラン基礎調査市民意向調査（平成28年度実施）

#### 4.1.1. 調査の目的

本アンケート調査は、中心市街地内外別に市民の生活圏や行動パターンなどの生活実態を把握し、本市の中心市街地としての位置付けやそれを踏まえた施策や事業を検討するにあたっての根拠となる基礎データや意向の抽出を主な目的として実施したものです。

#### 4.1.2. 調査の方法

- ① 調査地域：龍ヶ崎市全域
- ② 調査対象：全市民（18歳以上の男女）
- ③ 母集団：78,568人（平成28年4月1日現在：住民基本台帳）
- ④ 標本数：2,000票
- ⑤ 抽出方法：平成28年4月1日現在の住民基本台帳より、龍ヶ崎小学校区及び龍ヶ崎西小学校区から合計1,000名、その他の小学校区から合計1,000名を性別、年齢別等により無作為に抽出
- ⑥ 調査方法：郵送による配布・回収
- ⑦ 調査期間：平成28年11月1日～平成28年11月15日

#### 4.1.3. 回収状況

- ① 表本数：1,993票  
(2,000票の発送を行ったが、7通が宛先不明等で返送されたため、回収率を算出する母数を1,993票としました。)
- ② 有効回収票：700票
- ③ 有効回収率：35.1%
- ④ 年代別・居住地区（小学校区）別の回答状況

年齢階級別	居住地区														無回答	総数
	龍ヶ崎	馴染	八原	旧長戸	旧北文間	川原代	大宮	龍ヶ崎西	松葉	長山	馴馬台	久保台	城ノ内			
20歳未満	9	3	3	0	1	2	0	2	2	1	1	1	6	1	32	
20～29歳	41	6	7	3	2	3	2	14	0	2	6	0	8	2	96	
30～39歳	58	8	15	2	2	6	3	9	6	7	4	0	10	2	132	
40～49歳	80	15	23	4	2	11	4	14	6	6	10	1	20	5	201	
50～64歳	38	8	5	1	4	4	4	10	5	5	8	0	6	1	99	
65歳以上	64	13	7	6	3	5	3	9	11	10	3	0	2	1	137	
無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	
総数	291	53	60	16	14	32	16	58	30	31	32	2	53	12	700	

#### 4.1.4. 調査結果

アンケートの結果からは、中心市街地在住者以外の在住者は中心市街地への来街頻度が低いことや、買い物目的で訪れる方が多いものの市内外の大型店舗への流出が見られることが明らかとなりました。

また、中心市街地の将来像としては交通の利便性の高さや、安全・安心で暮らしやすいまち、子育て世代や若者が元気なまち等が挙げられます。さらに、中心市街地に求めることとしては、日常生活に必要な都市機能や交通手段が利用しやすいことや空家や空店舗の有効活用等が特に求められていることが明らかとなりました。

回答の詳細を次頁以降に示します。

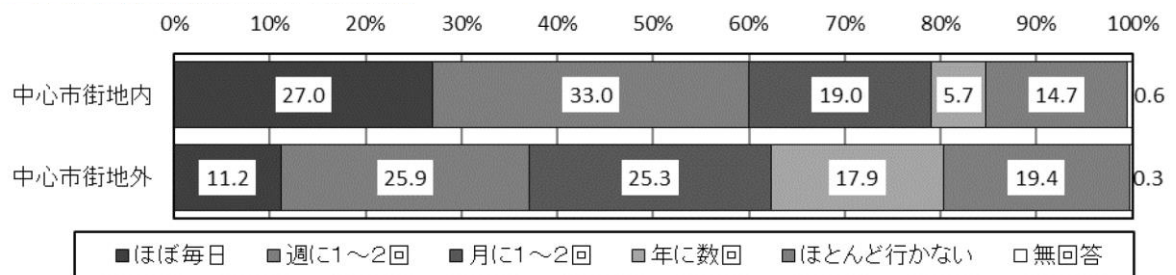
#### ■ アンケート調査の結果（傾向の整理）

項目	傾向
中心市街地への来街頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地在住者の6割程度は週に1～2回以上の高い頻度で中心市街地を訪れている。</li> <li>一方で、中心市街地外在住者は比較的来街頻度が低い。</li> </ul>
中心市街地に行く主な目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物目的で訪れる方が多い。</li> <li>官公庁や銀行、郵便局などの施設を利用する目的や、通勤、通学での来訪も比較的多い。</li> </ul>
買い物等の場所（食料品、日用雑貨）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地内在住者は中心市街地の店舗を利用している方も多いが、最も多いのは中心市街地以外の市内大型店舗であり、日常の買い物でも中心市街地外に流出している。</li> <li>中心市街地外在住者も中心市街地以外の市内大型店舗や市外の大型店舗の利用が多い。</li> </ul>
買い物等の場所（衣類、靴、装飾品）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地内在住者でも市外の大型店舗が最も多く、次いで中心市街地以外の市内大型店舗となっており、中心市街地へ買い物に行く方はこれらよりも少ない。</li> <li>中心市街地外在住者もほぼ同様の傾向である。</li> </ul>
中心市街地の居住者増加に向けて重要だと思われること	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料品や日用品を扱う商店や銀行などがそろっていること、公共交通が利用しやすいことなど、日常生活に必要な都市機能や交通手段が利用しやすいことが特に求められている。次いで、防災や治安、医療・福祉等。</li> </ul>
中心市街地の望ましい将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通の利便性の高さや、安全・安心で暮らしやすいまち、子育て世代や若者が元気なまち等が挙げられている。</li> </ul>
中心市街地に不足している機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業機能との意見が最も多く、次いで飲食機能、業務機能、駐車場、創業支援機能等との意見が多い。</li> </ul>
中心市街地の今後の取組の重要度	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家や空店舗の有効活用が重要であるとの意見が最も多く、次いで鉄道やバスなどの公共交通の利便性向上、自動車による中心市街地へのアクセス向上、まちづくりを担う人材育成や組織づくり、楽しく歩くことができる歩行者空間の創出などについて重要との意見が多い。</li> </ul>
中心市街地の魅力向上のために必要だと思われる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「明るい雰囲気を感じられる外観」が最も高く、次いで「若者向けの店舗構成」、「魅力ある店舗づくりのアドバイザーの派遣」が必要だと考えられている。</li> </ul>

### (1) 中心市街地への来街頻度

中心市街地への来街頻度については、中心市街地内在住者は「ほぼ毎日」「週に1～2回」等の高い頻度で来街している方が多いです。中心市街地外在住者は「ほぼ毎日」「週に1～2回」等の高い頻度で来街している方は4割弱で、「月に1～2回」「年に数回」「ほとんど行かない」等の低頻度との回答が6割を超えています。

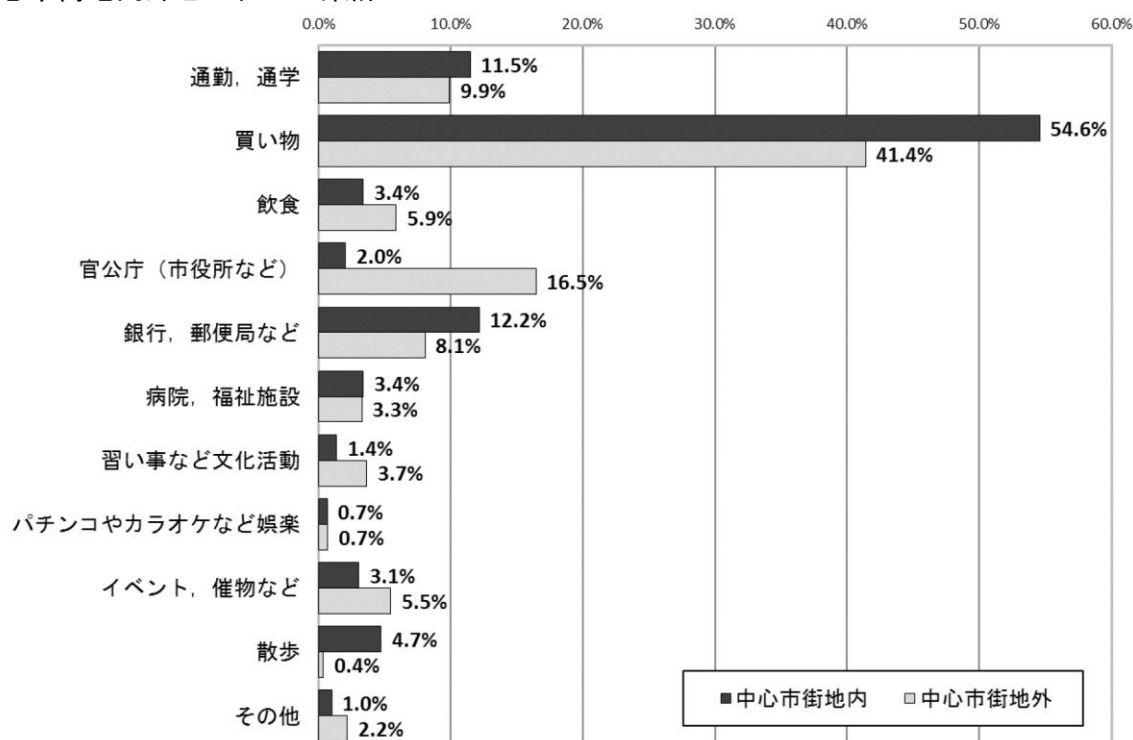
#### ■ 中心市街地内外とのクロス集計



## (2) 中心市街地に行く主な目的

中心市街地に行く主な目的については、中心市街地内外別に見ると、どちらでも「買い物」が第1位となっているが、中心市街地にお住まいの方は「銀行、郵便局」、中心市街地外にお住まいの方は「官公庁（市役所など）」を第2位に挙げています。特に「官公庁（市役所など）」において中心市街地内外での差異が大きいです。

### ■ 中心市街地内外とのクロス集計



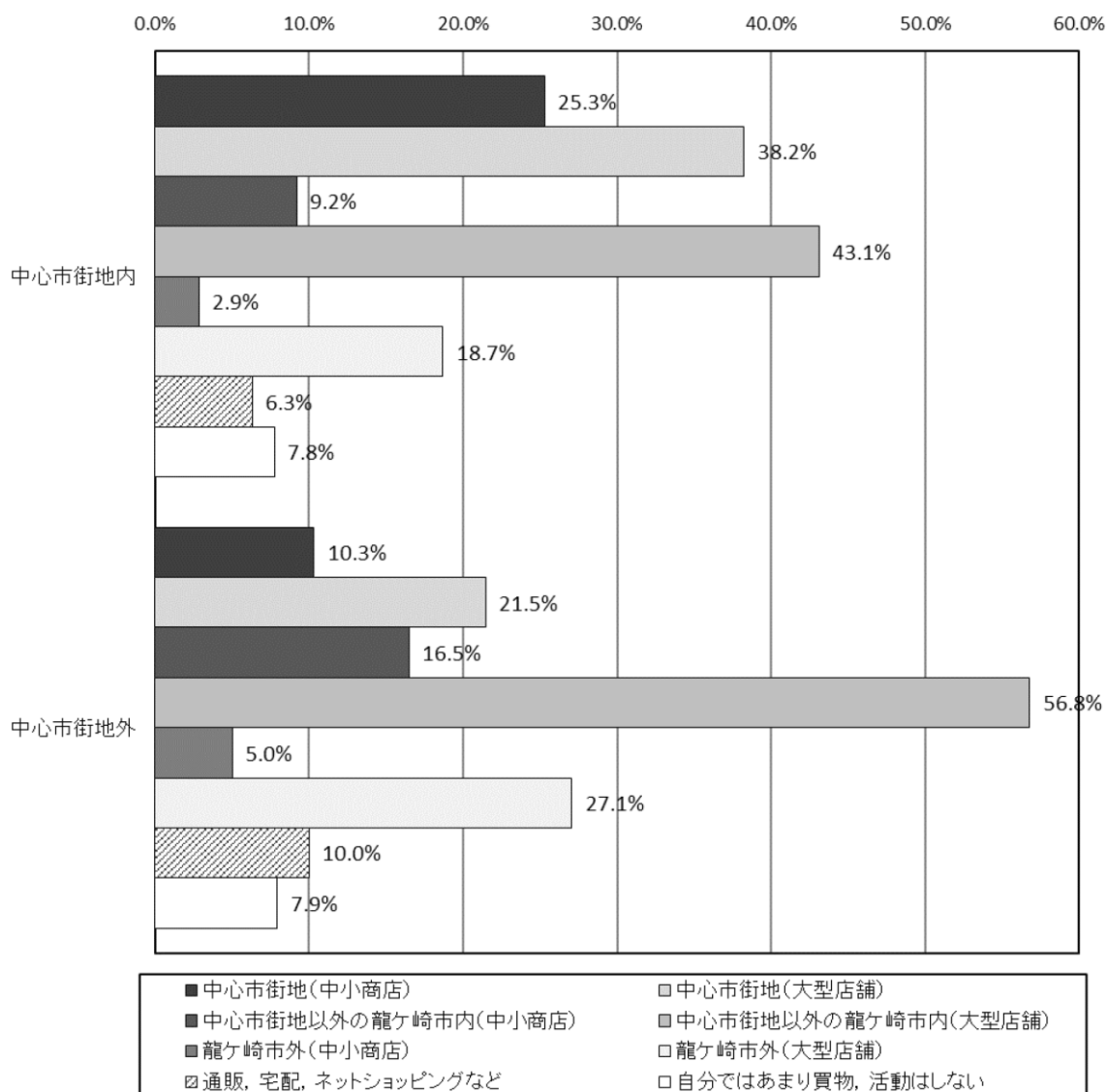
### (3) 買い物等の場所

#### 1) 食料品、日用雑貨

食料品、日用雑貨については、中心市街地内在住者は「中心市街地内（中小商店）」  
「中心市街地内（大型店舗）」との回答が比較的多いが、最も多いのは「中心市街地  
以外の龍ヶ崎市内（大型店舗）」であり、中心市街地内在住者でも日常的な買い物で  
中心市街地外の店舗を利用する方が多い状況にあります。

中心市街地外在住者も「中心市街地以外の龍ヶ崎市内（大型店舗）」の利用が多く、  
次いで「龍ヶ崎市外（大型店舗）」となっており、中心市街地へ買い物に行く方はこ  
れらよりも少ない状況にあります。

#### ■中心市街地内外とのクロス集計

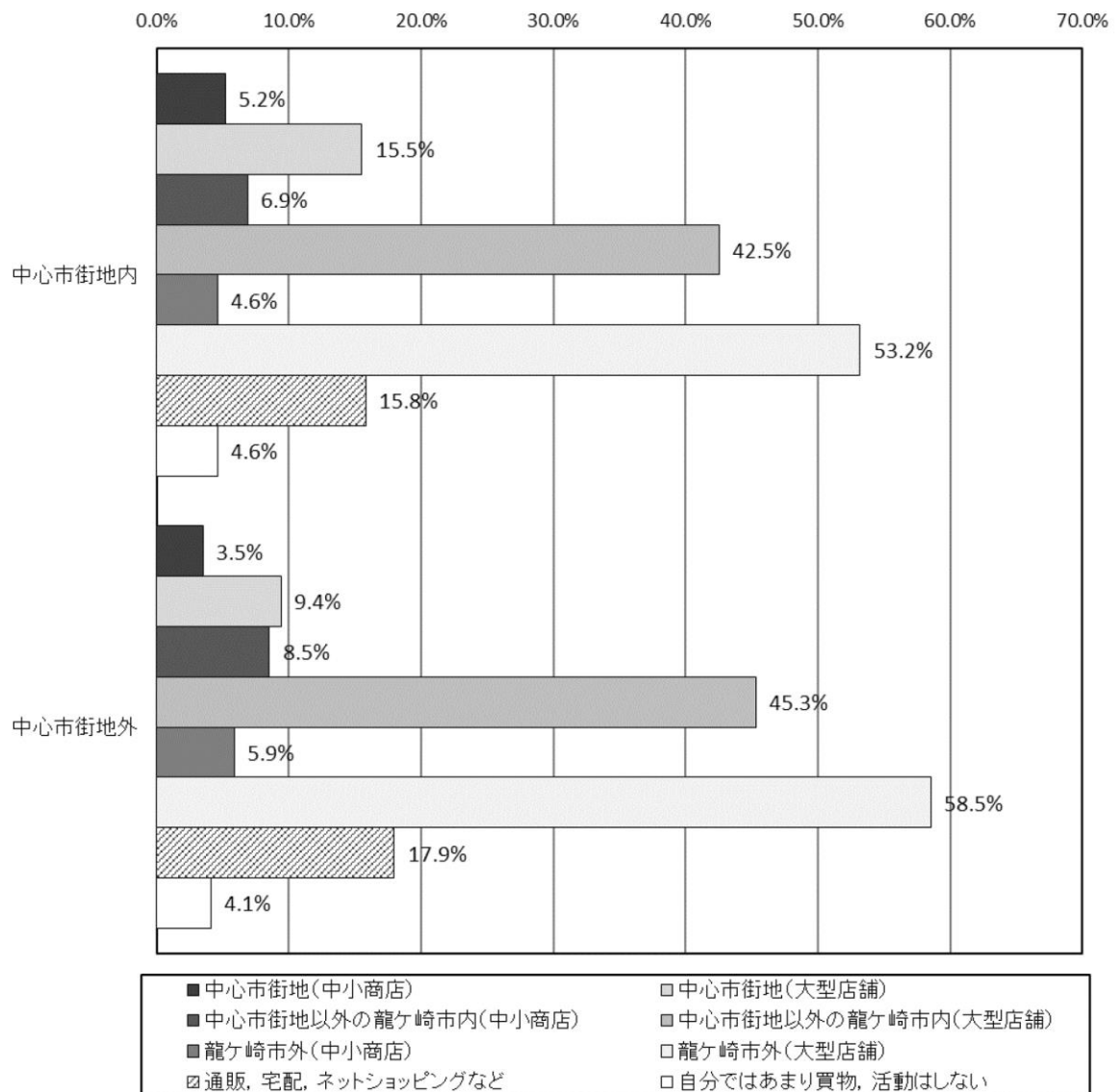


## 2) 衣類、靴、装飾品

衣類、靴、装飾品については、中心市街地内在住者でも「龍ヶ崎市外（大型店舗）」が最も多く、次いで「中心市街地以外の龍ヶ崎市内（大型店舗）」となっており、中心市街地へ買い物に行く方はこれらよりも少ない状況にあります。

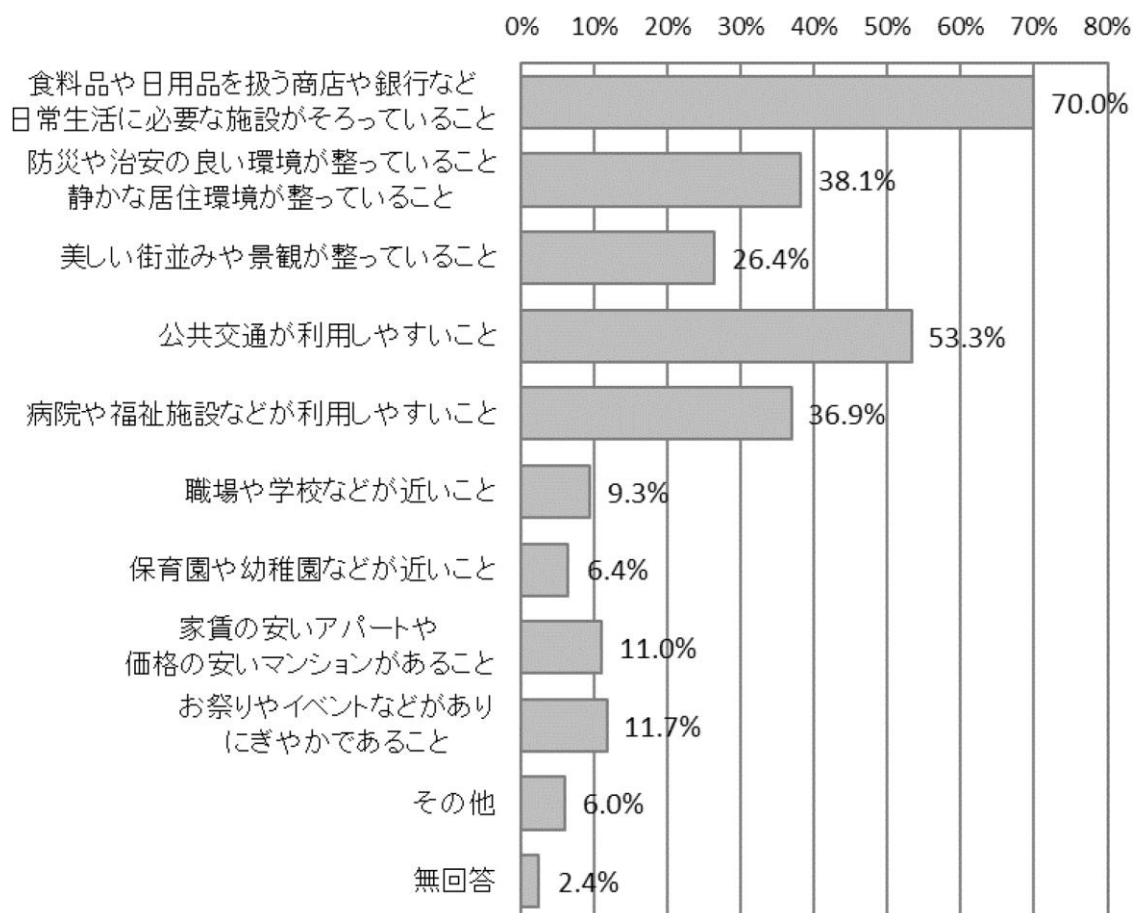
中心市街地外在住者もほぼ同様の傾向であるが、中心市街地内在住者よりもさらに中心市街地へ買い物に行く方が少ない状況にあります。

### ■ 中心市街地内外とのクロス集計



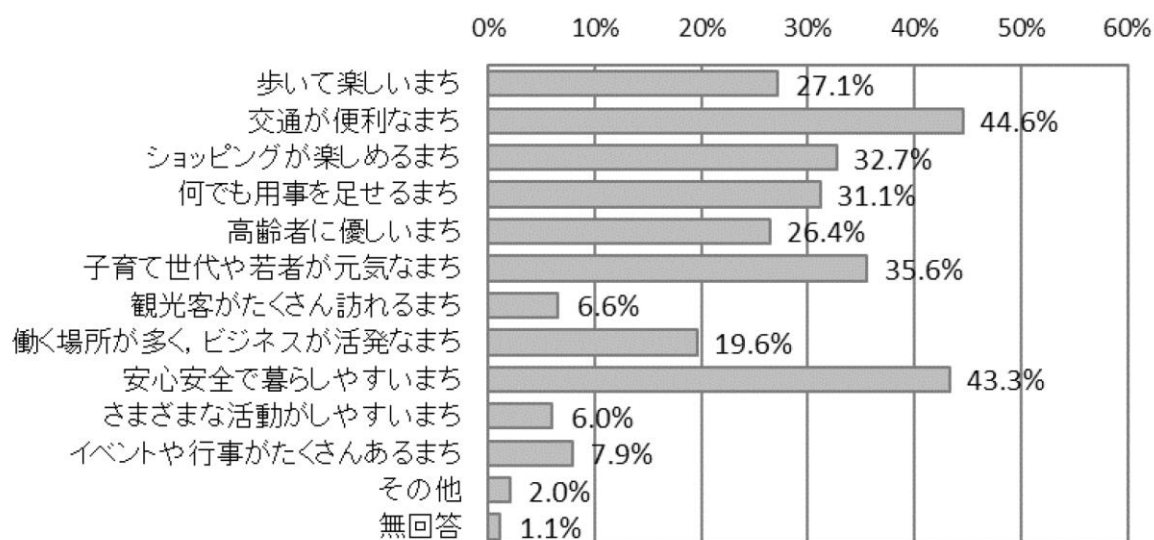
#### (4) 中心市街地の居住者増加に向けて重要だと思われること

中心市街地に居住する人口が増えるために重要だと思われるものとしては、「食料品や日用品を扱う商店や銀行など日常生活に必要な施設がそろっていること」が70.0%で最も高く、次いで「公共交通が利用しやすいこと」が53.3%、「防災や治安の良い環境が整っていること、静かな居住環境が整っていること」が38.1%の順となっています。



### (5) 中心市街地の望ましい将来像

中心市街地の望ましい将来像（あるべき姿）については、「交通が便利なまち」が44.6%と最も高く、次いで「安全・安心で暮らしやすいまち」が43.3%、子育て世代や若者が元気なまち」が35.6%の順となっています。

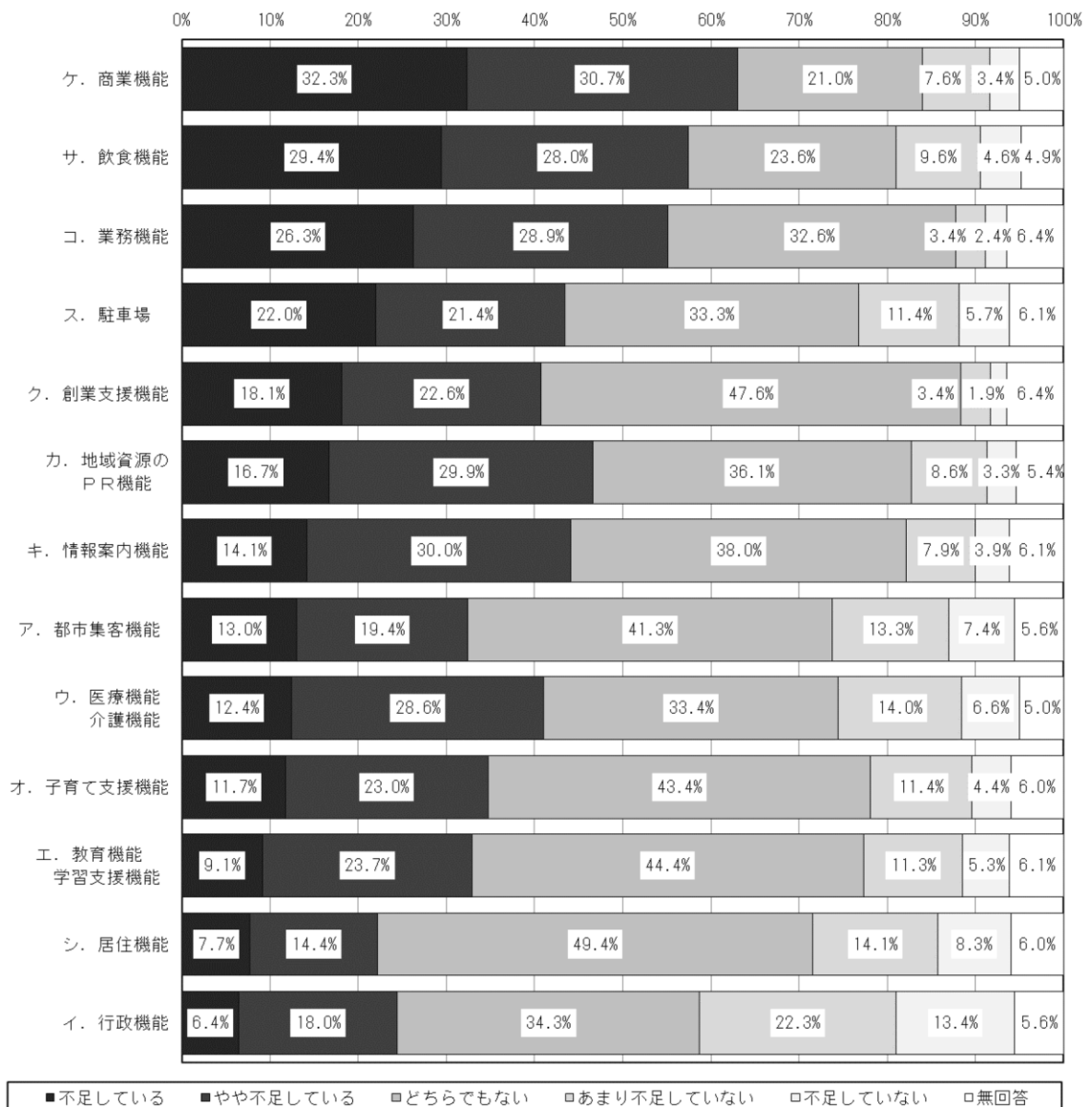




## (6) 中心市街地に不足している機能

中心市街地に不足している機能については、「商業機能」について『不足している』が32.3%と最も高く、次いで「飲食機能」が29.4%、「業務機能」が26.3%の順となっています。一方、『不足していない』と多く回答された項目については、「行政機能」が13.4%で最も高く、次いで「居住機能」が8.3%、「都市集客機能」が7.4%の順となっています。

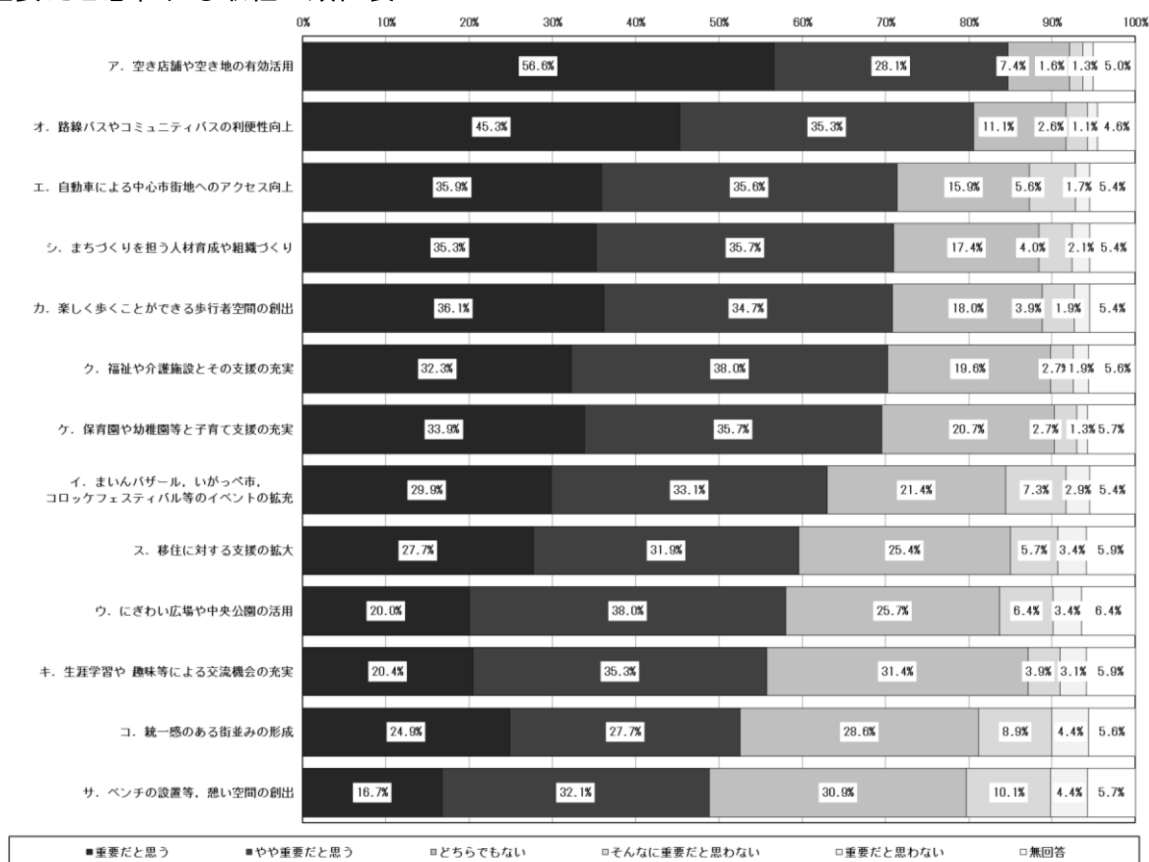
■不足している機能の順位表



## (7) 中心市街地の今後の取組の重要度

中心市街地の今後の重要だと思われる事業や施策については、「空家や空店舗の有効活用」が『重要だと思う』と『やや重要だと思う』を併せて 84.7%で最も高く、次いで「路線バスやコミュニティバスの利便性向上」が 80.6%、「自動車による中心市街地へのアクセス向上（狭隘道路の拡張、駐車場の設置等）」が 71.4%の順となっています。

■重要だと思われる取組の順位表



## (8) 中心市街地の魅力向上のために必要だと思われる取組

今後、中心市街地の商店街の魅力を向上させるために重要だと思われる取組については、「明るい雰囲気を感じられる外観」が34.7%で最も高く、次いで「若者向けの店舗構成」が33.4%、「魅力ある店舗づくりのアドバイザーの派遣」が28.7%の順となっています。

